



奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞

人口爆発 と 少子化 II

川井 秀夫

世界人口の増加に相對して、今回は日本の少子化を考えてみる。

80年代、私がまだ現役世代の頃、よく結婚式に招かれスピーチを求められ、「子供は一人でも多く生んで下さい」とエールを送ったものですが、私が今日を予測して言った訳ではなく「夫婦和合」「先憂後楽」を考えての事でしたが……。

私の思惑とはウラハラに、昨年 厚生省が05年 人口の自然減を発表。人口減少社会の到来が現実味を帯びてくる。出生率 1.29、高齢化が進む中で死亡率は自然増となり、100年後には6500万人と半減する予測が伝えられている。(下図参照)

中世史を見ても覇権大国であったスペイン・イギリスの凋落は人口減少であり、経済大国日本の国勢も悲観的にならざるを得ない。政府はやや狼狽気味に児童手当の引き上げ、出産手当の増額。企業は、託児所の増設、育児休暇、現場復帰の制度改革と付け焼刃とも思える施策を打ち出しているが、目先の気休めとも思える。

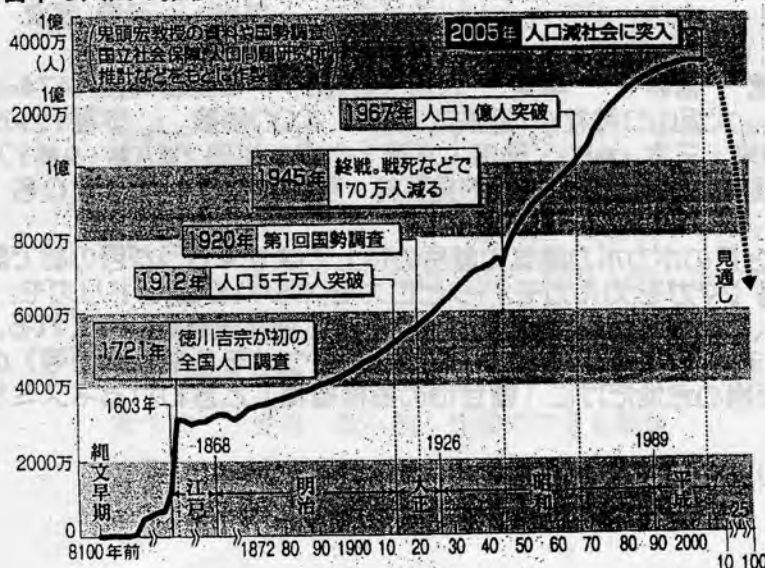
18才から29才の意識調査の回答者の70%が未婚者。育児はダサイ、出会いのチャンスがない。既婚者においても将来にたいする経済負担から抑制意識が強い等々。

私は思う。

現代の若者が豊かな時代に育ち、リスクを求めないフリーター、ニートに見られる自我の突出、将来観の欠如、自己の生活をエンジョイしたいと言った利己心。利他の心を失った日本人社会の潤いの精神復活こそ、真の豊かさの様に思えてならない。若者をダメとは切り捨てたくはない。内面を磨き、謙虚さ、慎重さを兼ね備えた、創造する若者に頑張ってもらいたい。

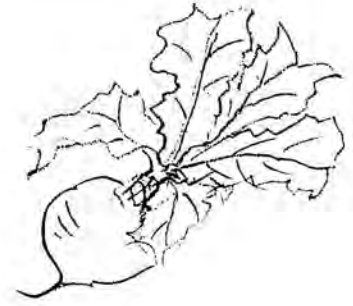
だが100年後の日本の社会はどんな姿を見せているのだろうか。外国労働者が移入して、アメリカ社会の様な多数民族になっているのか。はたまた、昨今の科学文明の発達により、

日本の人口の推移



人間ロボットが街を闊歩し、人がロボットの子供の手を引き、ロボットのペットを連れ歩く姿が見られるのかも知れない。これが新春の初夢だとすれば、人間余りにも悲しい。南無三。

今回は、社叢から自然保護を考えます。



第9回 近畿自然歩道・まほろばの路

「二上山を越え、屯鶴峰への路」紀行

岩田 利秋

寒中にもかかわらず温かく天候にも恵まれた1月16日、当麻寺駅には17名のメンバーが集まった。相撲会館前でミーティングをし、當麻速之塚をみて相撲談義をしつつ當麻寺境内へ。弓場さんより塔の上部にある「九輪」が當麻寺の東塔、西塔は「八輪」との説明に改めて数える。

當麻寺では5月14日、二十五菩薩による来迎練供養が行われるが、その練供養に昨年弓場さんの介添で寺田さんが菩薩となって来迎橋を渡られた体験談と写真を見せていただき境内を賑わす。左甚五郎作と伝わる「傘堂」を見学し、大池での鴨等の観察をしつつ祐泉寺を経て登坂する。急坂に汗ばみながら鶯の笛鳴きを聞きつつ「馬の背」に無事到着する。野鳥の歓迎をうけつつ雌岳から大和三山をはじめ奈良盆地や大阪の展望を楽しみつつ展望台の日時計が正午を示すなか昼食とする。

ダイヤモンドトレールを下り一路屯鶴峰へと向かう。

「ヤマノイモ」の蔓や「ヤマコウバシ」「シャシャンボ」など植物観察を教えてもらいつつの歩行は楽しくさすがは「ネイチャーなら」の先輩と敬服する。

車に小さくなって石灰岩の世界にも私有地と宅地開発が進んできている屯鶴峰に到着する。

不安感をもって始めて参加させていただいたが、周到的準備と先輩の温かい包容に感謝し幹事の方々に感謝します。

大伯皇女が弟の大津皇子の死を悼んで詠まれた万葉集より

「うつそみの 人なる我や明日よりは ふたかみ山を 弟世と我が見む」

第9回 近畿自然歩道・まほろばの路〈二上山を越え、屯鶴峰を訪ねる〉 行事報告

担当 弓場 厚次

日程 : 平成18年1月16日(月) 快晴 気温11.4℃ (最低-1.4℃)
コース : 近鉄當麻寺駅…相撲館…當麻寺…傘堂…大池(野鳥)…二上山雌岳(474m)
…穴虫峠…屯鶴峰…大坂山口神社…近鉄二上駅 4:00解散 : 歩程12km
参加者 : 岩田・堀江・篠原・川岸・三木(秋代)・勝田・水智・小山・小田(進八郎・久美子)
川井・小森・吉村・福谷・八尋・城戸・寺田・弓場 [下見] 林・弓場(京子) 計20名

1月半ばの當麻寺から二上山越え。3月のポカポカ陽気で雌岳の頂上ではヤマガラが目の前で盛んに餌を啄ばむ。途中、大池では野鳥(マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、ヒドリガモ、オシドリ、オオバン等)の遊泳を堪能し、屯鶴峰からの帰路ではキセキレイが私達を送ってくれる。また今冬は木々の果実が豊作で、特にモチノキ科(ナメノキ、モチノキ、ウメノキ、ソヨゴ等)の赤く熟した実が美しい。屯鶴峰は凝灰岩の台地だけに「痩せ地の指標植物」と言われるネズミサシが何本か観る事が出来た。

1月例会 新春講演会報告

川井 秀夫

恒例となりました学識者による、新春講演会が下記の通り実施されました。

日 時 1月21日(土) 曇り 低温

場 所 奈良公園から国際奈良学セミナーハウス

講 師 農学博士 横田 岳人

テーマ 森林を維持するメカニズム

参加者 28名(記帳順)

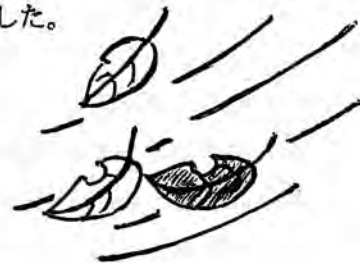
川井・大石・寺田・三岡・岩田・小山・阿部・林・古川・堀川・樋口・斉藤

西・小森・小嶺・小田(進・久)・市村(米・陽)・前木・豊島・柳原・松浦

概 況 前日の積雪予報により心配されましたが、遠来の方、初参加の方にご参集頂き有難う御座いました。

先生のご配慮でスケジュールを変更し、寒気の厳しい屋外での観察を短縮し屋内での講演を二部構成で実施。

- ・ 奈良公園ではナンキンハゼの生態系攪乱の現状、マツの特性、サイカチ、ムクロジの観察、鹿の生態等について傾聴。
 - ・ シベリアタイガの現地調査を永久凍土、イルツーツクの都市化の現状をパワーポイントで解りやすく説明を受ける。
 - ・ 午後はメインテーマを熟弁。学理論を平易に解説。土壌の変化、植物の代謝作用等、CO₂の排出・固定について言及。若さに溢れた講演に拍手。
- 午後3時終了。先生のこれからのご活躍を祈念して散会。



新春講演会報告

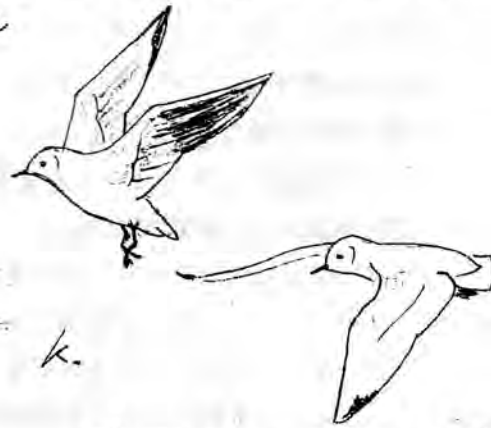
日時：1月21日

場 所：国際奈良学セミナーハウス

直前まで天気予報に振り回され、一時は開催すら危ぶんだことでした。しかし当日は寒い中にも晴れとなり本当に安心したものでした。数名?とも危惧していた午前中の観察会も19名の参加、会員諸氏の意識の高さを証明しました。ご褒美は横田先生の特別講義「極北シベリヤの調査旅行」のお話でした。寒さもあり1時間ほどで観察会を切り上げセミナーハウスに入り、先生の調査時の写真を中心とした凍土における森林状況などを説明していただきました。ここにも地球温暖化の影響がありツンドラ地帯が溶け出していたり、厳しい環境に耐えるカラマツの疎林の様子、森林火災の様子など興味ぶかい話ばかりでした。

午後は、1時よりの参加者4名を加え、たっぷり2時間余「森林を維持するメカニズム」と題しての講演を濃密に語っていただきました。“森林の生産性～光合成”の大切さは、地球上のすべてのものが生み出されてゆく根源であるからなのでしょう。森林は、動植物がバランスよく共存していることが求められ、そういった状態で維持されることが私たち人類の生存にも欠かせないと強く感じました。PM3:30散会 (阿部和生)

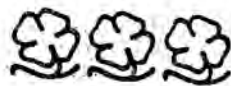
伊勢物語の作者在原業平が武蔵の国に下り、隅田川で「白き鳥の嘴と脚と赤き、鳴の大ききなる、水のうへに遊びつゝ魚をくふ」のを眼にして【名にし負はば いざ事とはむみやこどり わが思ふ人はありやなしやと】と詠んだあまりにも有名な歌の中の「都鳥」はこのユリカモメのことだと云われています。まだ見たことのないこの美しい鳥はなんというのかと漁師に尋ねると「みやこどり」だと答えられ都人の業平は大層驚いたそうです。歌の前の説明のとおり名実ともに優雅な鳥で「東京都の鳥」になった中型のカモメです。日本には冬鳥として10月頃から姿が見られ春には黒い頭巾を被っての北帰行です。京都の鴨川に姿を見せるようになったのは1974年1月からのことだそうで、今や都の冬の風物詩となりました。鴨川がきれいになりエサとなる魚も多くなりましたが、パンを持って来る人たちをも目当てにネグラの琵琶湖から毎日通勤しています。夕方にはタカ柱のように空に舞い上がりグルグル旋回しながら仲間を待ち、又舞い降りるなどを繰り返し、誰かが合図するかのように一団一斉に琵琶湖を目指して山を越えて帰って行くのだそうです。一度その光景を見たいものだと思うのですが、優良主婦(?)はなかなかその時間には立ち会うことが叶いません。



嘴と脚が赤くオヤレだが、見かけによらず
なんでも食べる悪食な鳥



地域情報



* 1, 2行でも結構です
身近な記事を送ってください。



- ★ 1月10日俳句の吟行会で枚方市の菅原天満宮を訪ねました。何と何と「天台烏薬」の群生に出会いました。昨年当会のまほろばシリーズで吉野西阿田町の阿田明神社の石段脇に一本の自生の木を見て感動したのを思い出しました。
クスノキ科の常緑低木で、葉は楕円形、先が尖り、三行脈がくっきり、葉にはあまり芳香はありませんが、根塊は芳香が強く健胃薬に使われます。中国浙江省天台山の原産で、大阪では池田にある位で希少種です。学研都市線長尾駅から徒歩5分。興味のある方はお出かけ下さい。(川井)
- ★ 1/2~3 斑鳩町神南の大木にシメ 1羽。8日竜田川にシメ 3羽。(勝田)
- ★ 今年は余り見かけないシメを見て。 14日イカル 1羽初見。(勝田)
- ★ 6日三室山神社の境内に白鳩の羽がいっぱい落ちていました。そこにリングをはめた1本の足もありました。12月にチョウゲンボウには鳩は無理と書いたのですが訂正しなければ・・・チョウゲンボウしか考えられません。
22日チョウゲンボウ 2羽が鳩の群れを追い回していました。(勝田)



【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場 所〉 奈良忍辱山国有林 (淀川、木津川、白砂川の源流域)
(忍辱山円成寺駐車場) より徒歩10分 11月号地図参照
- 〈集合場所〉 国道369号線
忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)
- 〈日 時〉 2月12日(日) 9時20分 第43回
2月21日(火) 10時20分 第44回
3月 8日(水) 10時20分 第45回
3月21日(祝) 9時20分 第46回
(終了予定) 午後3時頃
- 【天 候】 午前6時 奈良県北西部に警報が発表されている場合は中止いたします
- 〈交 通〉 奈良交通バス 平日 [梅の郷月ヶ瀬温泉行き]

土・日・祝 [柳生行き]

	J R奈良駅⑥番乗り場	近鉄奈良駅④番乗り場	忍辱山円成寺
日曜	8:26	8:29	9:02
平日	9:30	9:33	10:06

臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100

- 〈持ち物〉 ヘルメット(防災用)、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物
ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております

《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》

- 〈連絡先〉 弓場厚次
阿部和生
寺田正博

【作業実施報告】

1月11日(水) 晴 穏やかな天気

〈参加者〉 明石、小森、中畑、岩中敏光(新V)、弓場、寺田。 6名
奈良森林管理事務所より、鶴内則光所長、倉石博調整官が視察に来場。
前作業地、現作業地とも整備状況、作業進行とも良好との評価をうけた。
今後も安全第一を心掛け作業を進めて下さいとのことであった。

1月22日(日) 晴 寒さ厳しい

〈参加者〉 中畑、大石、明石、樋口、岩田(シ12期受講中)、阿部、寺田。
7名

寒さは厳しかったが、風は弱く作業に支障はなく、順調に進めることが出来た。
まだ寒い日が続くと思いますが、皆様のご協力をお願いいたします。

2月例会

白い息を吐きながら感動の銀世界へ

み
三

うね
峰

やま
山



宇陀郡御杖村 標高 1235.4m

奈良交通バス 霧氷号

山頂からの視界は 360 度。霧氷の向こうには 高見山 曾爾高原
が 遠望できることでしょう。パノラマ展望は素晴らしく冬登山
の醍醐味を存分に満喫していただけます。

<日時> 平成 18 年 2 月 4 日【土】 AM9:05集合

<集合場所> 近鉄 榛原駅バス停 AM9:05

<行程>ゆき:近鉄榛原駅バス停 AM9:15 出発→みつえ青少年旅行村 AM10:22→登山
かえり:みつえ青少年旅行村 PM16:00→近鉄榛原駅バス停 PM17:07

<持ち物>弁当、飲み物、アイゼン、ステック、冬山対策の服装

<交通>近鉄西大寺駅 AM8:25 →近鉄八木 8:45 のりかえ AM8:50→近鉄榛原 9:03
近鉄難波 AM8:05→近鉄上本町のりかえ

近鉄上本町 AM8:15 →大和八木 8:50→榛原 9:03

担当 阿部和生

弓場厚次

第 10 回 近畿自然歩道・まほろばの路

平野川のせせらぎと旗尾池を楽しむ路

近鉄関屋から旗尾池を通り、峠を通りすぎ平野川沿いに歩いて J R 畠田までの
コースです。

[日 時] 2月26日(日)10:00~15:00 少雨決行

[集 合] 近鉄大阪線関屋駅改札口フロアー 10:00集合

[交 通] 大和西大寺発急行 8:41→八木発準急 9:14→関屋駅着 9:50
難波発準急 8:57→鶴橋発準急 9:07→関屋駅着 9:45

[持ち物] 弁当・飲み物・観察道具・雨具

[担 当] 三木 正明

〈3月の予定〉

3月例会 《西吉野・津越の福寿草》ご案内

津越のフクジュソウは山深い所のため長く外部には知られることもなく保たれてきました。近年、口コミで少しずつ知られるようになりましたが、奈良県下ではフクジュソウの群落は珍しいです。山あいの早春の風景とちょっとした山歩きを楽しんで下さい。

【日 程】 3月9日(木)

【集合場所】 JR 五条 10:20

【交 通】 ★ 近鉄西大寺 8:47 発(普) → 橿原神宮 9:22 着、9:31 発(急)
→ 吉野口 9:45 着、9:58 発(JR 和歌山線乗り換え) →
五条 10:11 着

★ 近鉄阿部野橋 8:50 発(急) → (橿原神宮) → 吉野口 9:45 着
《西大寺組と合流》

【行 程】 JR 五条駅(10:27 発バス、約 30 分) ⇒ 城戸・・・津越

【準 備】 弁当、飲み物、雨具、観察用具

《担 当》 小田 久美子

第 11 回近畿自然歩道・まほろばの路

[コース名] 水の神様が奉られる明神山を訪ねる路

[日 程] 3月23日(木)

[担 当] 古川 祐司

* 詳細は会報第 50 号〈3月号〉でお知らせします。

協力活動 「いこま棚田クラブ」 2月3月活動日 ご案内

活動日…2/5(日) 2/13(月) 2/19(日) 2/27(月)

[竹林整備 椎茸のホダ木準備、玉きり、椎茸菌の植菌など]

2・19…東都島小学校エコクラブ来訪。]

3/5(日) 3/13(月) 3/19(日) 3/27(月)

集合場所: 近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣 セブンイレブン前

集合時間: 9時 西畑町自治会館まで タクシーほか 分乗乗車で移動

持ち物 : 弁当 飲み物 作業のできる服装

事務局 : 大寺道代



平成 18 年 1 月 定例幹事会議事録

日時：1月12日（木）PM1:00～5:00 場所：奈良女性センター 司会：豊島 書記：小山

【報告事項】

- (1) 会員動向：101名。会計報告：46,521円。
- (2) 12月度例会：12/12「平城宮跡野鳥観察と忘年会」参加者20名。
- (3) 近畿自然歩道・まほろばの路：12/15「当麻・白鳳ロマンのみち」参加者11名。
- (4) 「奈良忍辱山森林整備作業」：12/4 シニア自然大学の安倉理事来場「自然と仲間」1月号に取材記事掲載された。参加者9名。12/13晴天、参加者10名。
- (5) いこま棚田クラブ：例会4回 12/19大阪NPOセンターで幹事会、12/26地元の要請で竹林の整理をし、夜「1月のトンド」の打ち合わせ。

【討議事項】

(1) 1～3月行事予定の確認

- 1月 例会：1/21（土）新春講演会 演題「森林を維持するメカニズム」横田岳人先生
まほろばの路：1/16（月）「二上山を越え、屯鶴峰を訪ねる」
「奈良忍辱山森林整備作業」：1/11（水）、1/22（日）
いこま棚田クラブ：1/9（月）、1/15（日）、1/23（月）、1/29（日）
- 2月 例会：2/4（土）「霧氷の三峰山」
まほろばの路：2/26（日）「平野川のせせらぎと旗尾池を楽しむ路」
「奈良忍辱山森林整備作業」：2/12（日）、2/21（火）
いこま棚田クラブ：2/5（日）、2/13（月）、2/19（日）、2/27（月）
- 3月 例会：3/9（木）「津越の福寿草」
まほろばの路：「水の神様が奉られる明神山を訪ねる路」日時後日連絡
「奈良忍辱山森林整備作業」：3/8（水）、3/21（火、祝）

(2) 18年度 シニア進路説明会対策 今年度卒業の奈良出身者に会報を渡し積極的に勧誘する。

編集担当：勝田 均
Tel&Fax

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫